

演劇空間スペースベン



2月17日、画家ファン・ゴッホの生き方が私たちの歓びとなる

(文・ICANOFキュレーター・豊島重之(八戸在住))



(1) 市民がアートをつくり、アートが市民をつくる。すなわち「インタラクティヴィ」相互励起的。それが私たちICANOF(イカノフ)の活動モチーフである。

たとえば、私は私をつくる、私はこの私がつくる、そのように言うことは可能だ。その時、アートは自己表現や自己実現のための手段だと思われがちである。とすれば、アートは趣味やスポーツやリフレッシュや、なんらかの政治・経済・社会活動に置き換えられる。流行に翻弄されつも我が身を着飾ることのみに腐心することもまた、アートに代替え可能なのだ。

(2) しかし一旦、私は他者によってつくられる、この私をつくるのは他者だ、それも身近な他者であるばかりか、しばしば、はるか遠い他者であつたりする、と考え直してみれば、誰もがすぐ気づくだろう。アートは何にも代替え不可能な、ある困難さ自体を意味していると。ICANOFは写真・映像・ダンスを軸とした活動を展開しているが、それらはジャンルを表

連関を示している。趣味やリフレッシュを拒否しているのでは無論ない。むしろ趣味やリフレッシュから他者への通路を模索したい、それが私たちICANOFの願いだ。そしてその通路がどれほどの難路であるか、それを身をもって知るといふと、それ自体が歓びであるといふこと……。

(3) 来たる2月17日(土)

午後6時、八戸市美術館2Fギャラリーで第22回ICANOF八戸芸術大学・市民公開セミナーが開催される。講師は「絵画以前の問い合わせ——ファン・ゴッホ」の著者でもある神奈川県在住の画家矢野静明氏。「ひまわり」「糸杉」「夜のカフェ」「鳥の群れ飛ぶ麦畑」のフィンセント・ファン・ゴッホ。その名を知らぬ人はいまい。世界でも日本で最も人気が高い「印象派」の先駆者の中でも、ひとり異彩を放つファン・ゴッホ。孤高の生涯を貫いたゴッホにはいくつもの謎がつきまとった。たとえば



伊藤二子氏

矢野静明氏
ト・ファン・ゴッホの絵画と生涯——いくつもの謎をめぐって」(資料実費1000円)
●第22回ICANOF八戸芸術大学
市民公開セミナー 講師:画家 矢野静明
18:45矢野静明×造形家・伊藤二子
トークショウ「ファン・ゴッホの絵画と生涯——いくつもの謎をめぐって」(資料実費1000円)
●「ONE DAY ICANOF展(入場無料)」
予約・問合せはICANOF事務局=090-2998-0224
(高沢利栄) E-mail mol@r66.7-dj.com

2月の Friday A musement N egative S hop ~演劇空間 スペースベン~

■2月2日(FANS 678)

[ダベリ場 crossingcafe file.48]
自称クリエイターの悩み相談室「好みと方向性」
案内人:安達良春

■2月9日(FANS 679)

[ダベリ場 crossingcafe file.49]
~アートとカルチャーのボーダー~その1
案内人:田中勉

■2月16日(FANS 680)

[ダベリ場 crossingcafe file.50]
自称クリエイターの悩み相談室「収支と規模」
案内人:安達良春

■2月23日(FANS 681)

[ダベリ場 crossingcafe file.51]
~アートとカルチャーのボーダー~その2
案内人:田中勉

*特別番組以外全て午後7時30分~、料金/一般500円 高校生以下100円
*料金改定しました!高校生以下は、特別番組以外100円でご覧になります。
チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

■演劇空間 スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎ 0178-43-9876
FAX 050-3588-8350

tsutomu_tanaka ☎070-5095-2028
HP http://spaceben.com/
Eメール owner@spaceben.com